

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	日南町役場			代表者名	町長 中村英明
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	まち未来創造課	連絡先電話番号	0859-82-1110
担当者役職	主幹	担当者氏名	荒金太郎	連絡先E-mail	
住所	689-5292 鳥取県日南町佳純800				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	想いをカタチにするための「実現力」講座
概要	アドバイザーが実施している人材育成研修を通じて、DX人材の育成、中山間地域が抱える課題解決を目指す人材の育成を図る。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 働き方 地域ビジネス		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年6月24日	講演(実地)	9時00分	15時50分	50
				活動時間(分)	360
2-2. 派遣場所	会場名	日南町役場	最寄駅	JR生山駅	
	所在地	鳥取県日野郡日南町霞800	最寄駅からの交通手段	タクシー等	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講師の経験に基づいた説得力あるお話に加え、想いをカタチにするための「表」を活用した業務の進め方、デジタル技術を活用した課題の解決手法等、高齢化が進行する地域における行政職員としての方向性について、研修を通じて考え方を学び、体験することができた。
アドバイザーへの要望事項	大変良い内容であり、改めて今回受講できなかった職員、幹部職員含めて受講させたい。全国の自治体職員にも大変参考となる研修であると思います。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	15人		
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)	
	人数	13	0	2	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	これまでの地方創生の取組により、令和2年度に転入超過が生じるなど本町の推計人口は社人研より上振れし、一定の成果が上がっている。一方で、コロナ禍により停滞した地域活動は未だ十分な回復が見られず、「地域づくりの中核を担う人材不足」は本町の喫緊の課題であると認識している。このようなことから、ポストコロナ時代を新たに切り拓く行政職員を育成し、デジタル技術等を活用した地域の活力創造、持続可能な地域づくりの実現を図ることを目的とする。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	地域DX人材の育成、中山間地域が抱える地域課題解決を目指す人材の育成を図る研修プログラムを実施する。「想いをカタチにするための「実現力」講座」の実施により、地域が抱える課題をデジタル等の技術を活用して解決する、課題解決に必要なプロセス及び手法等について学ぶことにより、課題を先送りしないまちづくりの実現、まちづくりをジブンゴトとして捉えることのできる人材の育成を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「想いをカタチにする「実現力」講座」を開催し、デジタルツールを活用した「表」で課題を見つける、考える・説明する・結果を出す・人を動かす手法を学ぶことができた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタルツールを活用した組織マネジメント手法、報連相の有効活用等を学ぶことで、組織内での業務改善、企画・提案をカタチにするための手法を学ぶことができ、組織業務改善につながった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修参加者の多くが若手職員(1~2年目)職員であり、デジタルツールを活用した上司への提案手法や、企画・提案書の作成手法等を学ぶことができ、上司と部下のコミュニケーションの円滑化にもつながり、組織業務改善につながった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者の100%が「大変よい」「よい」と回答。「普通」「よくない」は0人であった。また、コメントとしては「今すぐ実践できる手法を学ぶことができた」「上司との報連相に困っていたので、大変参考になった」「前向きな研修内容でやる気もらった。毎年受講したい」とのコメントがあった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	研修参加者全員が満足という研修は本町職員研修ではなかなか実績が無く、組織業務改善にもつながる良い取り組みであったと感じている。今後、管理部門の職員も含めて同研修を検討することで、組織全体での業務改善につなげていきたい。 本研修を通じて、中山間地域が抱える地域課題解決を目指すデジタル人材の育成、組織業務改善につなげることができた。今後、地域が抱える課題をデジタル技術等を活用して解決する人材をさらに増やし、持続可能な地域づくりにつながるよう取り組んでいきたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可

掲載可

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

